

国際女性会議 WAW！ 2022 「新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」
～「地方」・「若者」を重視して～

「ふくしまから考える女性活躍社会」参加報告書

開催日 12月3日（土）

福島サテライト会場 福島県男女共生センター

東京において開催された国際女性会議「WAW！」は、各国の女性リーダーや若者の代表が、ジェンダー平等の観点から、女性の視点を反映させた社会実現のための方策の議論が行われ、私は、福島サテライト会場である県男女共生センターにて視聴した。

△特別セッション「女性と地方」：WAW！版車座

様々な地域に暮らす方々が、地方における女性たちが抱える問題や実践例など意見交換会が行われた。福島市の石山純恵さんは、本件の現状について「性別役割分担があり、女性が育児や介護などのケア役に回っている」と指摘され、この状況を変えるために女性同士が連帯を強め、女性活躍の新たな手本をそれぞれが作ることが大事と呼びかけられた。最後に、「能力はその立場に立ってこそ見えてくる世界があり、発揮できる」と結ばれたこの言葉は、様々な困難を乗り越えて、女性が社会で活躍していく力となっていくことを感じた。

△パネルディスカッション「ふくしまから考える女性活躍社会」

看護、経済、地域振興、教育の各分野からのパネリストによる意見は、女性視点からの社会づくりが重要であることから、女性活躍の意義の周知をしていかなければならないと感じた。

△分科会10 「女性と防災」

福島県から3名のパネリストが参加され、特に会津で一緒に活動している鈴木二三子さんは、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故により被災した経験から、記録誌「震災・原発事故と福島の女性たち」を作成し英訳誌を海外に送ったことを報告。災害対策は、身の安全の確保と生活に密着した女性の視点を大切に、生き延びるための準備を進めるための、女性の意見が反映させるべきであるなど、災害時に女性が直面する課題の解決に向けての議論があった。災害が起こる前からの準備として、普段からジェンダーについての話し合いが大事である。

以上

令和5年1月12日

2022年12月3日国際女性会議WAW2022報告書

収 支 決 算 書

収入の部

| 項 目 | 決算額 | 備 考 |
|----------|-------|-----------------------|
| 自己負担額 | 1,540 | @1,540×1名（大山亨子） |
| 会津若松市助成金 | 1,500 | 対象経費の1/2 ※上限ひとり5,000円 |
| 合 計 | 3,040 | |

支出の部

| 項 目 | 決算額 | 備 考 |
|---------|-------|------------------------|
| 交通費（JR） | 3,040 | 会津若松駅～二本松駅往復 @3,040×1名 |
| | | |
| 合 計 | 3,040 | |